

3) 公園管理コンポーネント 佐藤 宏幸 氏

成果1：クロッカー山脈公園内およびその周辺の地域社会の状況が調査・理解される。

成果2：調査結果を基に、クロッカー山脈公園管理計画が策定・出版される。

→住民のために、フルカラーの要約版を作成した。

成果3：クロッカー山脈公園の管理に関する機関・地域社会の人的能力開発が強化される。

→環境教育指導者育成研修＝TEEF（Training for Environmental Education Facilitators）を、毎月1回、1日6時間、日本人専門家が、青年海外協力隊員と、環境教育を実践するサバ公園局のスタッフに対して、体験・ふりかえり・一般化・応用、のラーニング・サイクルを活用し、グループワークや一人学習など多様な形態で、下記の内容を実施した。

- 1) 環境教育を実施するために必要となるファシリテーション・スキル(伝える力)の習熟。
- 2) クロッカー山脈公園に特化した環境教育アクティビティの開発。
- 3) 1・2を通じて環境教育実践者としての自信を高める。

キャパシティ・ビルディングの結果、総合的なコミュニケーション能力が高まった。

キャパシティ・ビルディング実施4原則

1. 継続して実施する。
2. スキル・トレーニングとして実施する。
3. 参加者が互いにリソース・パースンとなるように実施する。
4. 参加者の「からだ」と「あたま」と「こころ」の状況に沿って柔軟に実施する。

成果4：クロッカー山脈公園の管理計画が具体的に実施される。

→人間の生活と自然保全を同時に行うコミュニティーユースゾーン（CUZ）を設け、公園内に居住している住民の先住権を認めると共に、ワークショップを開催し、公園管理に協力してもらう取り決めを行った。

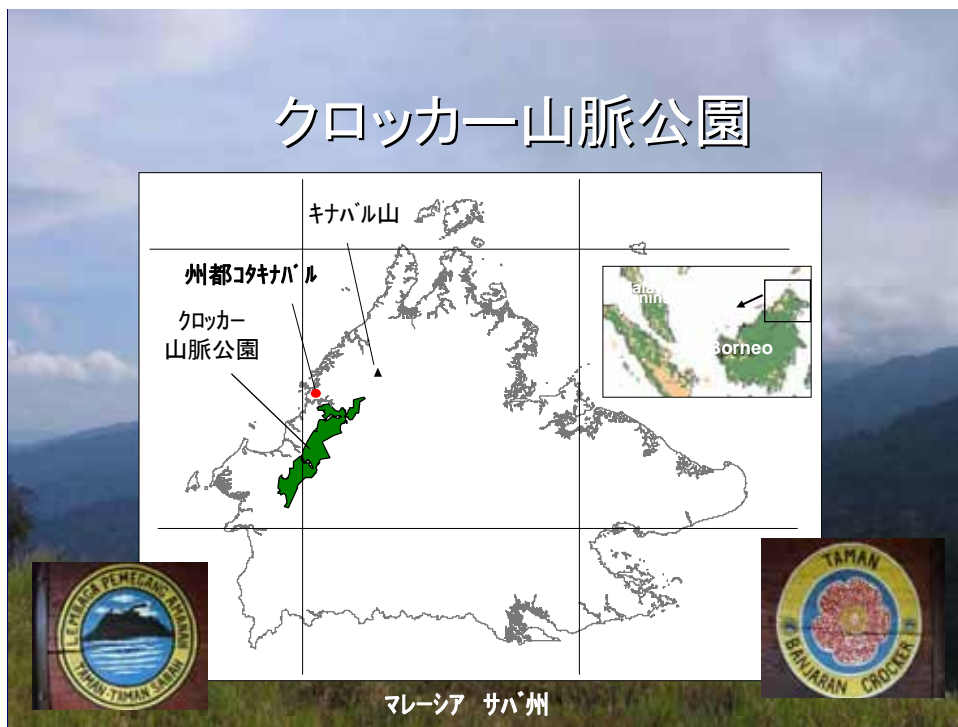
成果5：クロッカー山脈公園の管理計画の実施を通じて得られた教訓が分析され書籍として編集される。

BBECプログラム 公園管理コンポーネント 活動報告

佐藤 宏幸

前BBEC-PMC長期専門家
合資会社 バリュース アンド ビジョンズ 代表

クロッカー山脈公園



成果

成果1：クロッカー山脈公園内およびその周辺の地域社会の状況が調査・理解される。

成果2：クロッカー山脈公園管理計画が策定・出版される。

成果3：クロッカー山脈公園の管理に関する機関・地域社会の人的能力開発が強化される。

成果4：クロッカー山脈公園の管理計画が実施される。

成果5：クロッカー山脈公園の管理計画の実施を通じて得られた教訓が分析され編集される。

成果 2

クロッカー山脈公園管理計画が策定・出版される。



クロッカー山脈公園管理計画



要約版

成果 4

クロッカー山脈公園の管理計画が実施される。

コミュニティ・ユース・ゾーン(CUZ)



成果3 人的能力開発 環境教育指導者育成研修

T raining for
E nvironmental
E ducation
F acilitaors



いつ・どこで

2006年
3月1日・2日
4月12日
5月10日
6月15日
7月18日
8月8日
9月19日
10月31日
11月21日
12月19日
2007年
1月16日

毎月1回

1日6時間



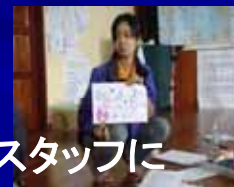
クロッカー山脈公園
ネイチャー・センター



ラフレッシュ情報センター

だれが・だれに・だれと

専門家が



環境教育を実践するサバ公園局のスタッフに

青年海外協力隊の環境教育隊員の方々と

何を

1. 環境教育を実施するために必要となる
ファシリテーション・スキル(伝える力)の習熟。
2. クロッカー山脈公園に特化した
環境教育アクティビティの開発。
3. 1・2を通じて環境教育実践者としての自信
を高める。

どのように

多様な学習形態



一人で考える



小グループで考える



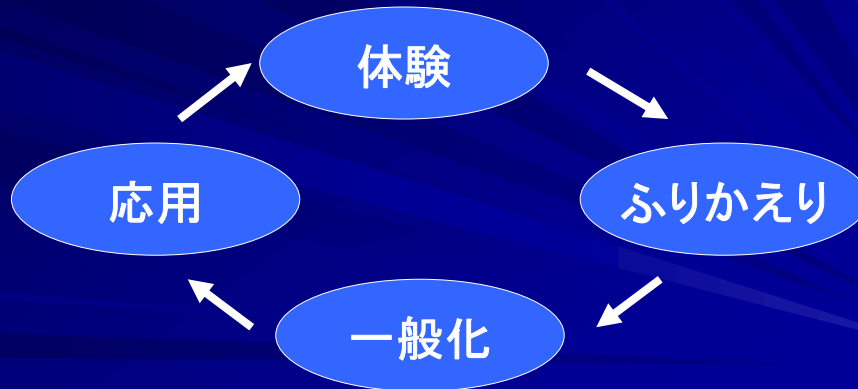
ペアで考える



大グループで考える

どのように

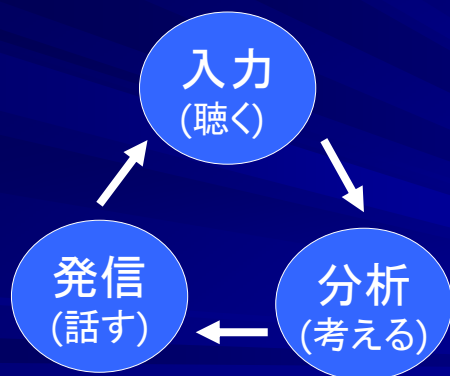
ラーニング・サイクル



キャパシティ・ビルディング 実施4原則

1. 継続して実施する。
2. スキル・トレーニングとして実施する。
3. 参加者が互いにリソース・パーソンとなるように実施する。
4. 参加者の「からだ」と「あたま」と「こころ」の状況に沿って柔軟に実施する。

キャパシティ・ビルディングの結果、総合的なコミュニケーション能力が高まった。



アイデア創造スキル
プレゼンテーション・スキル
グループワーク・スキル
視覚化スキル
傾聴スキル
分析スキル
インタビュー・スキル
質問スキル
アイス・ブレイク・スキル
Etc..

8 ヘルパーズ

1. いつ When
2. どこで Where
3. だれが Who
4. だれに To Whom
5. だれと With Whom
6. 何を What
7. どのように How
8. なぜ Why

8ヘルパーズは、ファシリテーションの基本ツールとして、キャパシティ・ビルディングの中で、参加者がくりかえし使用したものです。

ありがとうございました

クロッカー山脈公園 イノボン・リサーチ&ピジター・サブ・センターより マイポール公園長撮影
